

第10回

九州新聞社 ピアノコンクール本選参加者募集

主催：九州新聞社ピアノコンクール実行委員会
後援：福岡県／福岡市教育委員会／大分県／大分市教育委員会
佐賀県／佐賀市教育委員会／長崎県／長崎市教育委員会

九州新聞社ピアノコンクールは、九州の音楽文化向上に貢献したいとの思いで10年目の開催を迎えます。出場される方の励みになるよう、本選の入賞者全員の氏名、指導者名を**佐賀新聞**、**西日本新聞**に掲載。さらには豪華トロフィーをご用意いたします。

一次予選		二次予選		本選
福岡 大分	令和4年 8月21日(日) 会場 / 福岡女子学院 ギール記念講堂	福岡 大分	令和4年 12月4日(日) 会場 / 福岡女子学院 ギール記念講堂	令和5年 2月25日(土) 26日(日) 会場 / 福岡女学院 ギール記念講堂
佐賀 長崎	8月27日(土)28日(日) 会場 / エスプラッツホール	佐賀 長崎	12月10日(土)11日(日) 会場 / エスプラッツホール	※本選 課題曲部門：25日(土) 自由曲・デュオ部門：26日(日)

各予選は、居住地にとらわれず、
ご都合の良い日程、場所で受験していただく事が出来ます。

本選ゲスト審査員には日本を代表するピアニスト 横山幸雄氏!!



©大村克己

人気と実力を兼ね備えた日本を代表するピアニスト。
第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞。
2021年にはデビュー30周年を迎え、常に第一線で活躍をしている。
各地の一流オーケストラやアーティストとの共演で絶大な信頼と評価を得ると共に、10年にわたる東京FMの番組でのパーソナリティや、数十枚に及ぶCD制作などにおいても高い評価を得てきている。数々の壮大なコンサート企画で注目を浴びる一方、自身がプロデュースするリストランテバガソヤキメラ、ピアンカラサロンでのより身近に音楽を感じていただける機会の創出や、昨年からは始めたライブ配信リサイタル「マイハートピアノライブ」など、さらに意欲的に活動の幅を広げている。
名古屋芸術大学、京都市立芸術大学、広島大学、エリザベト音楽大学、山梨大学、各客員教授。また、故中村紘子女史の後を受け、日本パデレフスキー協会会長も務める。
2020年東京文化会館大ホールでの2日間にわたる『ベートーヴェン生誕250年記念ピアノソナタ全32曲連続演奏会』が全て収録されたDVDが好評発売中。

オフィシャル・サイト
<http://yokoyamayukio.net/>



コンクールの流れ

- ◆ 一次予選の入賞者は二次予選に、二次予選の入賞者は本選にそれぞれ出場できます。
- ◆ 各予選・本選ではグランプリ、準グランプリ、最優秀賞、優秀賞を各コースから出します。
- ◆ 本選のゲスト審査員はピアニストの横山幸雄氏、それ以外の審査員は非公表です。
- ◆ 横山幸雄氏の審査は2月26日(日)の自由曲部門・デュオ部門のみです。

本選日時：2023年2月25日(土)・26日(日)

会場：福岡女学院ギール記念講堂 (福岡県福岡市南区日佐)

2歳から
一般まで
出場可能!

〈申込書受付期間〉2022年12月23日(金)~2023年1月23日(月)

九州新聞社ピアノコンクール実行委員会 事務局 (佐賀新聞文化センター内)

〒840-0826 佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F

TEL 0952-25-2160 info@saga-sbc.jp

<https://www.saga-sbc.jp>

佐賀新聞文化センター

検索